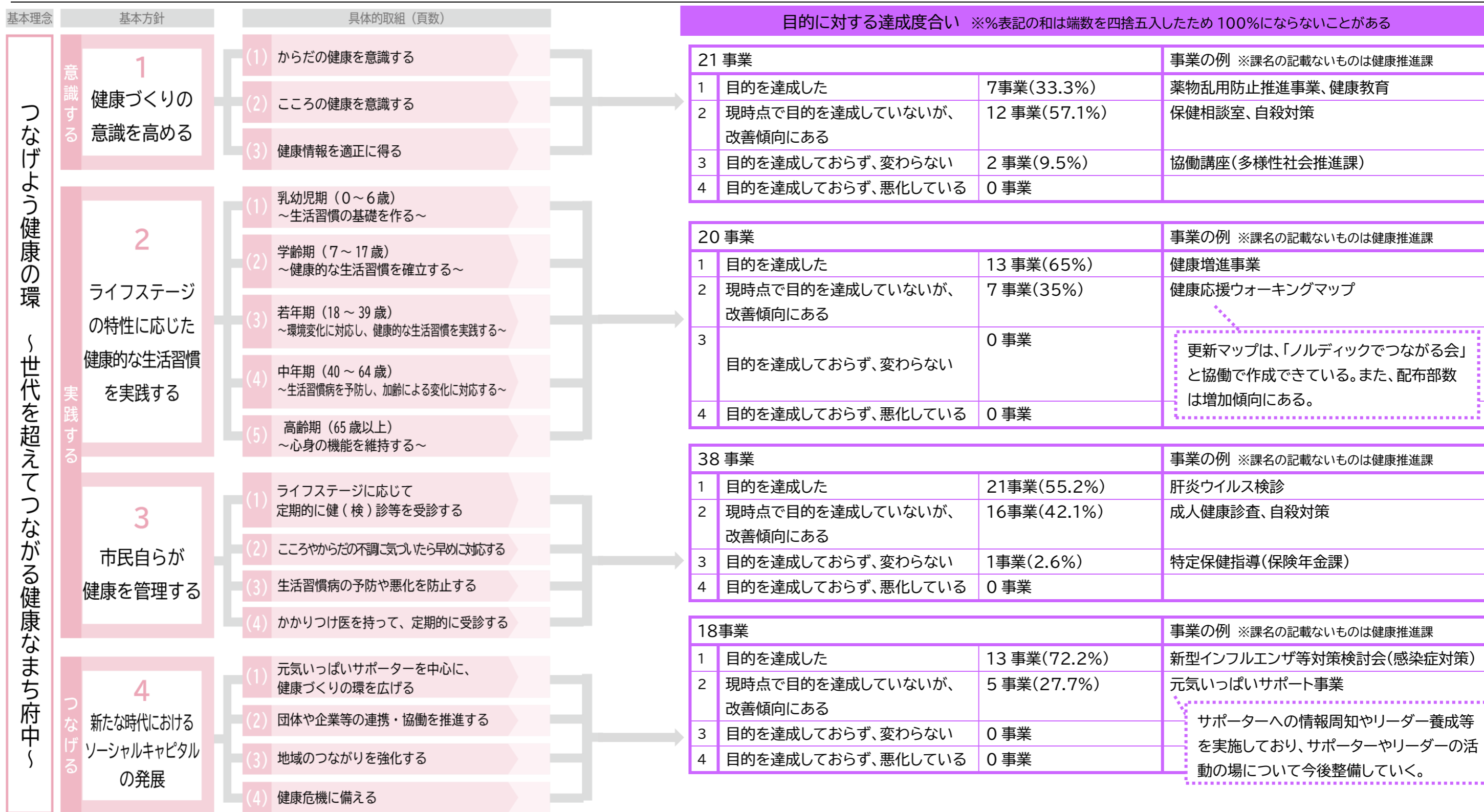


1 (1) 第3次府中市保健計画【令和6年度 関連 89 事業】

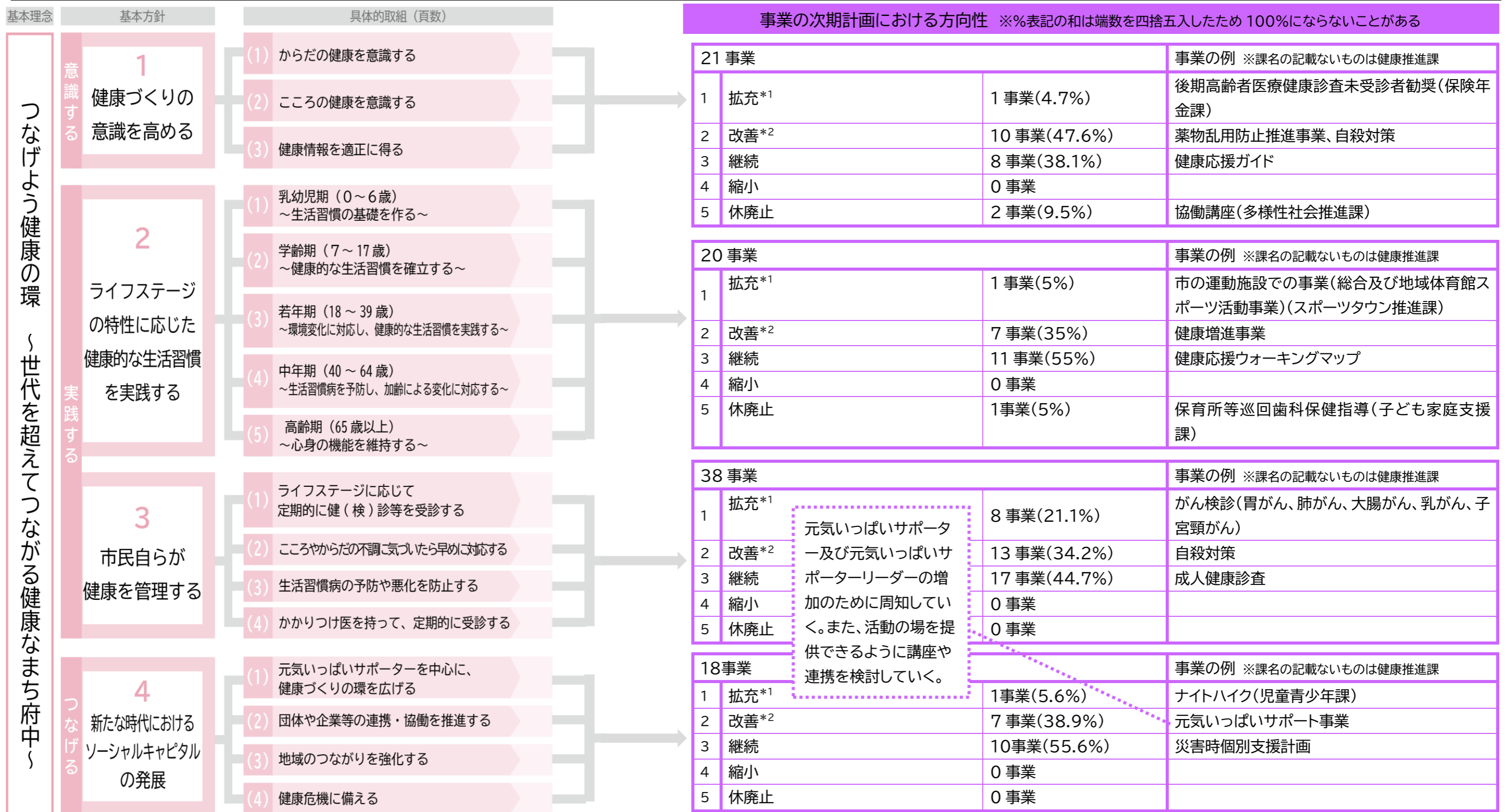
資料2



【考察】9割以上の事業が、「目的を達成した」「現時点で目的を達成していないが、改善傾向にある」と評価されている。例えば、知識の普及啓発によって市民自ら健康を意識する機会を創出する健康教育事業は、年度を通して636人に対し講座を行い、後日配信も行ったなど、目的を達成した。また、こころの健康への意識や早期対応、相談窓口の情報入手を目的とする自殺対策事業では、市内小・中学生向けに「SOSの出し方に関する教育」を実施(小学校1校(初)、中学校2校)するなど事業の充実に取り組んできており、今後も継続していく必要があるとして改善傾向にあるとの評価である。ソーシャルキャピタルの醸成推進を目的とした元気いっぱいサポート事業では、元気いっぱいサポーター・リーダー養成講座やリーダー会を実施するなど養成が進んでおり、今後活躍の場を検討していくとして改善傾向にあると評価された。

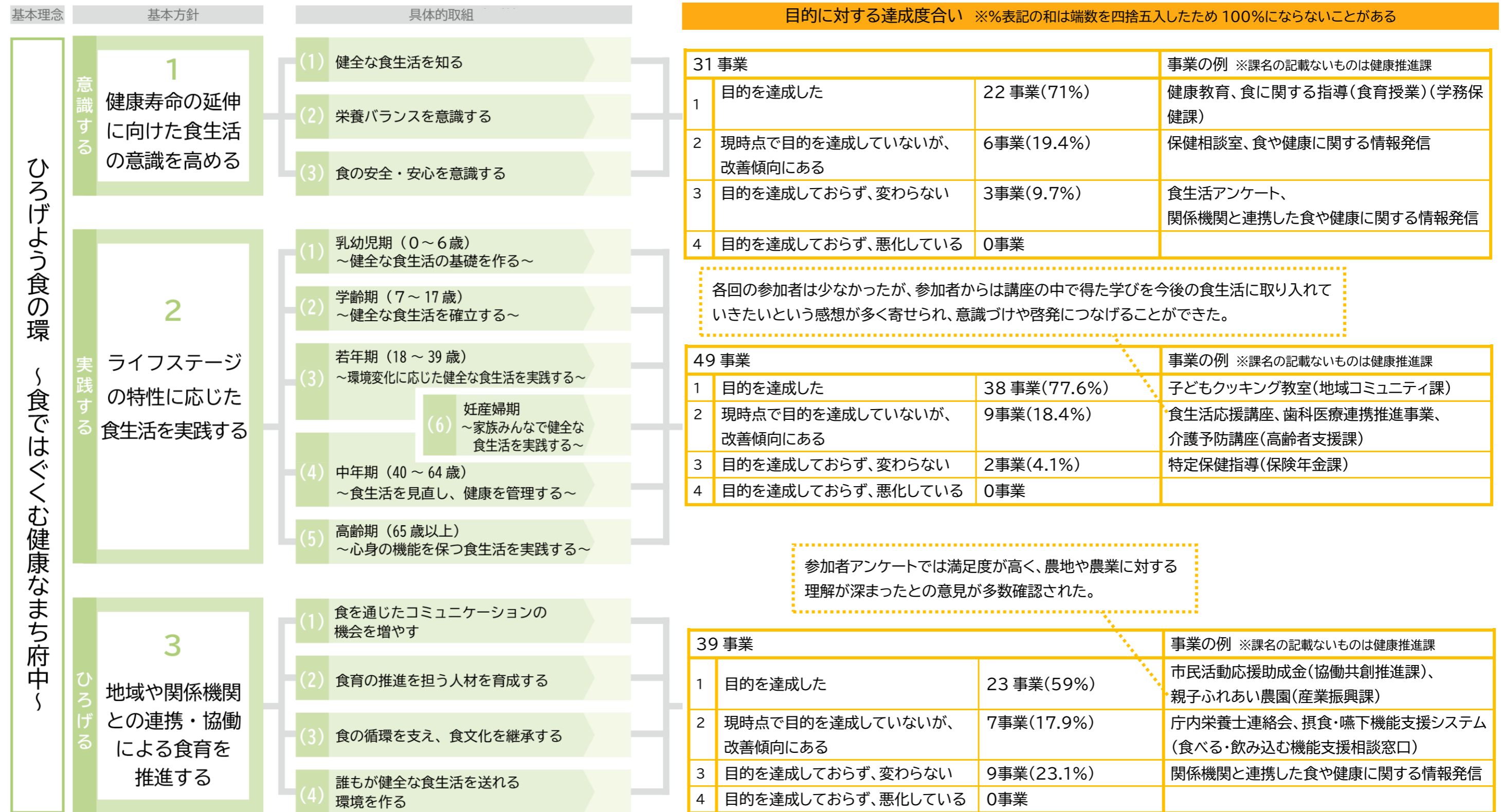
1 (1) 第3次府中市保健計画【令和6年度 関連 89 事業】

*1 拡充: 事業の対象や実施回数など事業規模の拡大を伴うもの
 *2 改善: 事業規模は概ね変わらないが、方法や内容の充実・変更を伴うもの



【考察】9割以上の事業が、次期も現状の取り組みを「継続」、あるいは「拡充」「改善」して事業を続けるとしている。例えばがん検診事業においては、次年度より大腸がん・乳がん検診を個別検診に移行するかたちで拡充をし、受診率及び精検受診率向上を目指すこととしている。また、「改善傾向にある」自殺対策事業では、第2次府中市自殺総合対策計画に基づき、市内大学との連携や専門職向けゲートキーパー研修の実施、職域に向けた啓発等を実施するなど事業内容を改善する方向を見込んでいる。同じく「改善傾向にある」元気いっぱいサポート事業では、今後サポーターの活躍の場を検討していくほか、現在は郵送の連絡手段をメールなどの活用を含め検討していくとして、「改善」と評価している。

2 (1) 第3次府中市食育推進計画【令和6年度 関連 113 事業】



【考察】

基本方針3を除いて、9割以上の事業が「目的を達成した」「現時点で目的を達成していないが、改善傾向にある」と評価されている。庁内で市の食育に関する課題を共有し、連携して普及啓発活動を行うことを目的としている庁内栄養士連絡会では、農業まつりにて初めてレシピ集の配布及び試食配布を実施するなど、組織横断的に食育の啓発を行ってきており、目的の実現に向け改善傾向にあるとして今後も取り組みを継続していく考えである。また、「目的を達成しておらず、変わらない」と評価された事業は、担い手不足や場所の確保といったハード面の要因や、新型コロナ感染症拡大防止の観点から開催をしなかった事業などがある。

2 (1) 第3次府中市食育推進計画【令和6年度 関連 113 事業】

*1 拡充: 事業の対象や実施回数など事業規模の拡大を伴うもの

*2 改善: 事業規模は概ね変わらないが、方法や内容の充実・変更を伴うもの



【考察】

9割程度の事業が、次期も現状の取り組みを「継続」、あるいは「拡充」「改善」して事業を続けるとしている。例えば、「手前どり POP の設置」事業では協力先を現在のコンビニエンスストア2社以外にも拡大するとして、次期の方向性を「拡充」としている。また、隔年実施のため令和6年度は未実施であった食育推進リーダー育成事業では、地域に密着した食育推進の担い手を養成することで、幅広い推進が可能になるため引き続き「継続」とし、養成後に各食育推進リーダーが活動できる場を整備していくこととしている。